奥ものべ青空市開催

１０月８日、物部地区集落活動センター準備会の企画で、奥ものべ青空市が開催されました。

当初は、物部グラウンドを予定していましたが、前日の雨により、奥物部ふれあいプラザに会場を変更し、地元の食材、特産品、雑貨など２６店舗の販売となりました。

当日は、開場とともに町内外から多くのお客さんで賑わい、お昼前には商品が売り切れるお店もありました。また、高齢者のお買い物対策として注目されている、高知工科大学研究連携課による「スマートグラス疑似お買い物体験コーナー」も開設され、訪れた方に試していただきました。

今後は地元の各団体と連携して、集落活動センター開設に繋がるような取組を進めていく予定です。

香美市消防表彰

８月２２日、初期消火協力者として功績のあった、竹田真悟さん（物部町）に市長から表彰状が贈呈されました。

これは、６月２５日に発生した火災において、急斜面に山積みされた杉、桧等の樹皮の堆積物を除去するため重機を使用し、急斜面に短時間で道を開設し、鎮火までの３日間消火に努めたことによるものです。

当日は、竹田さんの勇敢な行動に対し、市長から表彰状とともに、感謝の言葉が贈られました。

かみめぐりオープニングイベント開催

１０月７日、かみめぐり開催にあたって、メディア向けオープニングイベントが市立移住定住交流センターで開催されました。地元の片地小学校６年生１５人を招待し、３つのミニプログラムを体験しながら、かみめぐりの魅力に触れてもらいました。

今回のかみめぐりはバラエティー豊かな２３のプログラムがあり、香美市の面白いモノやコトが体験できます。１２月１８日(日)まで開催しています。申し込み方法などは、パンフレットや公式WEBサイトをご覧ください。

かみめぐり事務局
NPO法人いなかみ（香美市立移住定住交流センター）8:30-17:30／水･日･祝休み
☎52-8606　E-mai info@kamimeguri.com

「家族のきずな」作文コンクール表彰式

８月２２日、香美モラロジー事務所が主催の第１２回「家族のきずな」作文コンクール表彰式が開催されました。

当コンクールは、市内に在学する小学生・中学生、特別支援学校の小学部生・中学部生を対象として作品が募集され、今回のテーマは『家族に心を寄せる』でした。

当日、入選作品の表彰が行われるとともに、入選作品が朗読されました。家族の在り方について、考えさせられる機会となりました。

星空観望会

９月３０日、香北中学校グラウンドで『星空観望会』を市と香美市観光協会の共催で行い、３５名が参加して、満天の星空の下で木星や土星を観察しました。

講師は、香美市観光大使の宮地竹史さんや高知天文ネットワーク等の方に協力してもらいました。参加者は、まず始めに基幹集落センターで観望会の説明を聴き、空が暗くなり始めた頃に、香北中学校に移動し、講師の方が持ってきた望遠鏡で秋の星空をみんなで眺めました。

自前の望遠鏡を持参した小学生は凄腕の持ち主で、移動する木星や土星など参加者がリクエストする星に瞬時にピントを合わせてくれ、参加者のみならず講師の方々も感心していました。

香美市戦没者追悼式

９月３０日、先の大戦における戦没者ならびに多数の戦争受難者に対し追悼の誠を捧げるため、市立中央公民館において香美市戦没者追悼式がしめやかに行われました。

式典では、黙とう、献花に続き、代表に選ばれた山中香澄さん（大栃中学校）が平和の作文を朗読しました。

参列者らは、若い世代からのメッセージを受け取り、恒久平和への誓いを新たにするとともに、戦争で尊い命を落とされた方々の安らかなご冥福を祈りました。

香北の自然公園フィールドワーク

１０月２６日、高知県地域観光課主催の『もっと草花を楽しむ講座（実践編）』のフィールドワークが香北の自然公園で行われました。

講師に県立牧野植物園アドバイザー稲垣典年さん、草花活用支援専門員の藤井聖子さんを迎え、受講生のほか、３０名ほどが参加しました。

参加者は、講師が次々と草花を見つけ、テンポよく説明し、楽しかったことや、公園の見晴らしのよさに満足していました。受講生は今後、各地域の草花スポットで観光ガイドとして活躍する予定です。

日ノ御子清掃活動

１０月２日、香北中学校、大宮小学校、日ノ御子再生倶楽部、クライマー、地元住民などが集まり、日ノ御子川周辺の清掃活動が行われました。

日ノ御子川周辺は地元の子ども達の川遊びや、釣りやボルダリング、カヌーなどさまざまなアクティビティが楽しめる場所ですが、家庭の粗大ごみや産業廃棄物が不法投棄をされている状況です。この状況を改善するために、日ノ御子河川公園キャンプ場の指定管理者であるラフディップが呼びかけを行い、１００名以上のボランティアによって行われました。